

栃木県CALS/EC

電子納品運用に関するガイドライン(案)
付属資料

平成18年4月

栃木県土木部

目 次

付属資料 1 道路台帳整備業務の電子納品	付1-1
1-1 道路台帳整備業務の電子納品対象成果品	付1-1
1-2 運用上の注意事項	付1-1
1-3 道路台帳補正報告書の作成	付1-12
1-4 成果品の提出部数	付1-12
付属資料 2 用地測量業務の電子納品	付2-13
2-1 用地測量図面のレイヤ構成	付2-13
付属資料 3 工事完成図書に地質・土質調査成果を含めた場合の電子納品	付3-14

付属資料1 道路台帳整備業務の電子納品

道路台帳整備業務委託の成果を電子納品する場合は以下のルールを適用する。

1-1 道路台帳整備業務の電子納品対象成果品

道路台帳整備業務の電子納品では、栃木県道路整備台帳整備要綱で定められた成果品のうち、当面、表-1の成果品について電子納品を実施する。

【表-1 電子納品対象成果品】

成果品名	フォルダ	ファイル形式	備考
基準点測量成果	SURVEY/KITEN	PDF, TXT	測量成果電子納品要領（案）に準拠
地形測量成果	SURVEY/CHIKAI	PDF	
境界測量成果	SURVEY/YOUCHI	PDF, TXT	
公図写	SURVEY/YOUCHI	SFC	
調書類	SURVEY/DOC	PDF, 別添	道路台帳補正報告書、境界標調書等
道路台帳補正調書	SURVEY/DOC	MDB	
現況平面図	DRAWING	SFC	4図面を1ファイルで作成
道路台帳測定基図	DRAWING	SFC	
道路敷地図	DRAWING	SFC	
道路求積図	DRAWING	SFC	
集計表	-	-	電子化の対象外
基準点・多角点網図及図郭割図	-	-	

1 公図写のレイヤ構成は、「電子納品運用に関するガイドライン（案）栃木県」の付属資料2「用地測量業務の電子納品」を参照。

2 道路台帳測定基図及び道路敷地図はラスターファイル（TIFF）も併せて納品する。

1-2 運用上の注意事項

(1) 道路台帳の電子納品フォルダ構成

道路台帳の測量成果は、SURVEYフォルダに格納し、道路台帳附図はDRAWINGフォルダに格納する。その他のフォルダにはデータを格納しないため、フォルダは作成しない。

SURVEYフォルダに格納するファイル

- ・ 測量情報管理ファイル及び成果データは、「測量成果電子納品要領（案）国土交通省」に従い格納する。
- ・ 調書類、道路台帳補正調書（ACCESSデータ）は、SURVEYフォルダ直下のDOCフォルダに格納する。

DRAWINGフォルダに格納するファイル

- ・ 図面管理ファイルは、P 5 表-3「道路台帳附図の図面管理項目」に従い格納する。
- ・ 道路台帳附図のファイル名は(2) の命名規則に従い格納する。
- ・ 道路台帳測定基図及び道路敷地図のラスターデータのファイル名は(2) の命名規則に従い格納する。

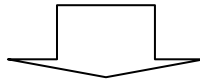
(2) 道路台帳成果ファイルの命名規則

測量情報管理ファイル、測量成果管理ファイル、成果ファイル及び図面管理ファイルの命名規則は、「測量成果電子納品要領（案）国土交通省」または「CAD製図基準（案）国土交通省」に従うものとする。

道路台帳補正調書（ACCESSデータ）及び調書類のファイル名は、契約番号を利用する。

(例) 契約番号が118-01-0123の道路台帳補正調書1ファイル目の場合

118（発注年度） 18
 01（事務所番号） 1 事務所番号が10の場合は、「0」
 0123（連番） 0123



18101231.MDB

関連ファイル内の連番

道路台帳補正調書データが複数ある場合は、2、3、・・・を使用する。

[表-2 調書類のファイル命名規則一覧]

測量細区分	フォルダ名	栃木県道路台帳整備要綱による分類		ファイル名(関連ファイル内の番号)	適用
		測量細分類	成果等の名称		
道路台帳整備	DOC	調書(1)	道路台帳補正調書	1~9	
		調書(2)	橋梁現況台帳	A	
			トンネル現況台帳	B	
			踏切現況台帳	C	
			歩道橋現況台帳	D	
			シットカルバート現況台帳	E	
		管理資料(1)	道路台帳補正報告書	F	
			土地所有者一覧表	G	様式境界1
			境界承諾不調調書	H	様式境界3
			境界標調書	I	様式境界4
			境界標設置調書	J	様式境界5
			地点標調書	K	様式距離標1
		管理資料(2)	測量成果	測量成果電子納品要領に準ずる	
		管理資料(3)	道路境界確認承諾書	L-O 1	様式境界2
		その他の成果が必要な場合		P-Z	

1 PDFファイルにて1ファイル10MBを超える場合には分割する。

道路台帳附図のファイル名は以下のとおりとする。

- ・ ライフサイクルは維持管理のため「M」とする。
- ・ 整理番号は「0」とする。
- ・ 図面種類は平面図の「PL」とする。
- ・ 図面番号は全体の通し番号（数字3桁）とする。
- ・ 改訂履歴は「Z」とする。

（注）CAD図面を作成する際にラスターデータを背景図として利用する場合は、CADデータとラスターデータを同一名称（拡張子が異なる）とする。

（例）CAD図面：M0PL001Z.SFC ⇔ ラスターデータ：M0PL001Z.TIF

道路台帳測定基図及び道路敷地図はCAD図面と併せて、GISで管理するための当面の処置としてラスターデータ（TIFF）を納品し、そのファイル名は以下のとおりとする。

（例1）図面ファイル名「M0PL001Z.SFC」の道路台帳測定基図をTIFFファイルとして作成する場合のファイル名は、整理番号を「1」に変更し、「M1PL001Z.TIF」とする。

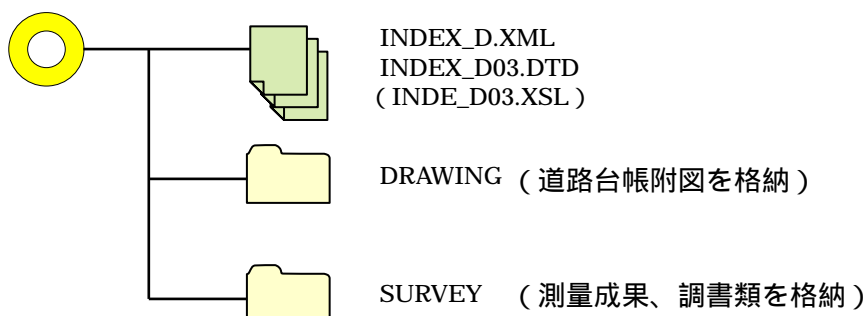
（例2）図面ファイル名「M0PL001Z.SFC」の道路敷地図をTIFFファイルとして作成する場合のファイル名は、整理番号を「2」に変更し、「M2PL001Z.TIF」とする。

ラスターデータの仕様

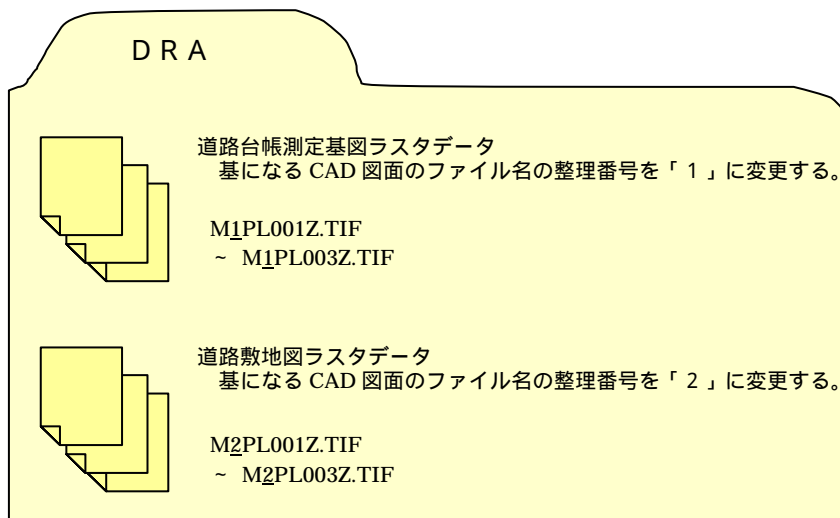
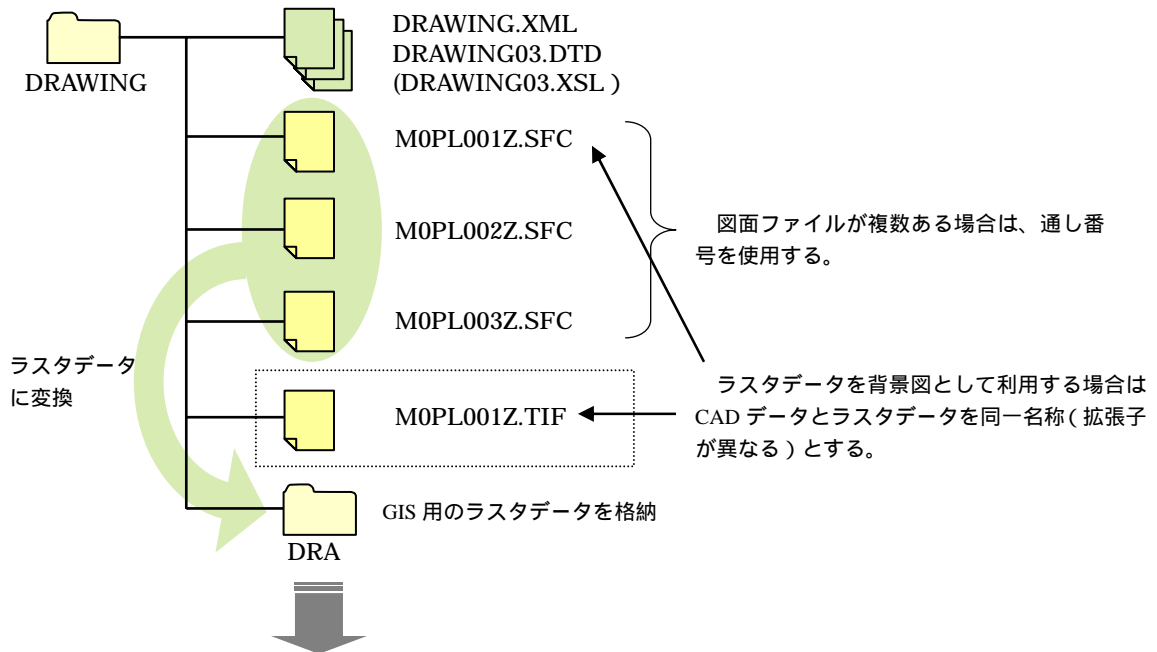
ファイル形式	TIFF (CCITT G4圧縮)
読み取り解像度	400dpi
色数	モノクロ (白黒の2値)

（注）CADデータをラスターデータに変換する際、図面が鮮明でない場合は、紙出力後にスキャナ読取りを行い、ラスターデータを作成する。ただし、スキャナ読取は必要最小限とする。

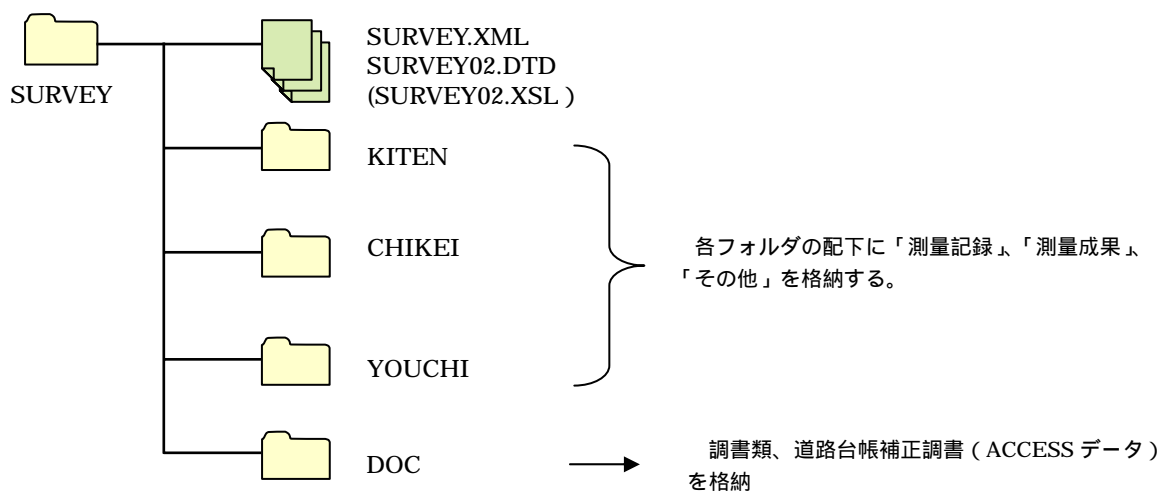
フォルダ構成（全体構成）



「DRAWING」フォルダの構成



「SURVEY」フォルダの構成



[表-3 道路台帳附図の図面管理項目]

道路台帳附図の図面管理ファイルは、CAD製図基準(案)の図面管理項目を準用する。
 ただし、管理項目の一部は、県で独自に定めているので、注意して作成すること。

図面管理項目(1/2)

CAD製図基準(案)の図面管理項目								県独自の図面管理項目		
分類	No	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	記入内容	必要度	
共通情報	1	適用要領基準*A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を土木2004 06-01等の記入例に従い記入する。(分野:土木、西暦年:2004、月:06、版 01)	全角文字 半角英数字	30			左記同様。		
	2	対象工種(数値)*B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001～035の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値で記入する。なお、100～999の数値を記入した場合には、3、4を必ず記入する。	半角数字	3			道路「001」で固定。		
	3	追加工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100～999の数値を記入する。	半角数字	3			記入不要。	-	
	4	追加工種(概要)*1)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127					
	5	追加サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。	半角英数字	8					
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127					
*2) 図面情報	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			「道路台帳附図」で固定		
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。	半角英数字 大文字	12					
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入す	全角文字 半角英数字	32		左記同様。			
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64			1/500で固定。		
	11	縮尺	縮尺を記入する。複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。	半角英数字	16					
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入	半角数字	3			納品面の通し番号		
	13	対象工種 *B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001～035の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値を昇順で記入する。	半角数字	3			道路「001」で固定。		
	14	追加図面種類(略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は、認められません。)	半角英数字	2			記入不要。	-	
	15	追加図面種類(概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。	全角文字 半角英数字	127					
	16	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。	半角英数字	8					
	17	測地系	日本測地系(旧測地系)、世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系は「01」を記入する。	半角数字	2			世界測地系「01」で固定		
	*3) 基準点情報	緯度経度	緯度	図面中の1点の緯度を記入する。度(4桁)分(2桁)秒(2桁)対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角英数字	8		() *4)	記入不要。 (基準点情報は平面直角座標に記入)	-
			経度	図面中の1点の経度を記入する。度(4桁)分(2桁)秒(2桁)対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角英数字	8				

*2)	*3)	基準点情報 平面直角座標 系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の 番号で記入する。	半角英数字	2	() *4)	栃木県は'09'で固定。			
		基準点情報 平面直角座標 X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX 座標で記入する。	半角英数字	11		図面中の左上と右下の平面直 角座標(19系)をX座標で記入 する。			
		基準点情報 平面直角座標 Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY 座標で記入する。	半角英数字	11		図面中の左上と右下の平面直 角座標(19系)をY座標で記入 する。			
	その他	*4)	新規 レイヤ名 (略語) *C)	本基準(案)で定義していないレイヤを 追加する場合に、基準(案)に準じたレイ ヤ名称11文字以内の半角英数字で記入 する。	半角英数字	11		記入不要。	-	
			新規 レイヤ (概要)	上記23で追加した新規レイヤに関する 内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127				
			受注者側で図面に付けるコメントを記入 する。	全角文字 半角英数字	127	左記同様。				
			発注者側で図面に付けるコメントを記入 する。	全角文字 半角英数字	127	左記同様。				
	予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)	全角文字 半角英数字	127	道路台帳附図の管理コード (23桁)を記入。 *D)					
ソフトウェア用TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用 する。(複数入力可)	半角英数字大 文字	127		左記同様。			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 :電子成果品作成者が記入する項目
:電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 :必須記入
:条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず入力する)
:任意記入

:複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す

*1)追加工種がある時は、「3 追加対象工種(数値)」、「4 追加対象工種(概要)」をセットで複数回繰り返す。(記入不要)

*2)図面情報は、図面の枚数分を複数回繰り返す。基準点情報の記入方法については、「6. 基準点情報」を参照。

*3)「位置図」、「平面図」、「一般図」の基準点情報は、47~49または17、20~22のいずれかを必ず記入する。

(道路台帳附図の基準点情報は、20~22に記入する)

基準点情報のXML記入例

<pre> <基準点情報> <測地系>01</測地系> <緯度経度> <基準点情報緯度></基準点情報緯度> <基準点情報経度></基準点情報経度> </緯度経度> <平面直角座標> <基準点情報平面直角座標系番号>09</基準点情報平面直角座標系番号> <基準点情報平面直角座標X座標>+AAAA.AAA</基準点情報平面直角座標X座標> <基準点情報平面直角座標Y座標>+BBBB.BBB</基準点情報平面直角座標Y座標> </平面直角座標> <平面直角座標> <基準点情報平面直角座標系番号>09</基準点情報平面直角座標系番号> <基準点情報平面直角座標X座標>+CCCC.CCC</基準点情報平面直角座標X座標> <基準点情報平面直角座標Y座標>+DDDD.DDD</基準点情報平面直角座標Y座標> </平面直角座標> </基準点情報> </pre>	<p>} 図面中の左上の平面直角座標 のX,Y座標</p> <p>} 図面中の右下の平面直角座 標のX,Y座標</p>
--	---

*4)基準(案)で定義していない新規レイヤを追加する時は、「23 新規レイヤ名(略語)」と「24 新規レイヤ(概要)」をセットで複数回繰り返す。(記入不要)

*A) 本基準(案)の分類は以下の通り。

平成13年8月版——土木200207

平成14年7月版——土木200207

平成15年7月版——土木200307

平成16年6月版 土木200406-01

*B)対象工種に入力する数値は、下表から選択する。(道路「001」を記入)

*C)新規レイヤ名の追加はレイヤ命名規則に従い関係者間協議の上入力してください。ただし、同一図面の中での重複は認めておりません。(記入不要)

「(1文字) ~ (4文字以下) ~ (4文字以下)」

*D)道路台帳附図の管理コード(23桁)の記入例

管理コード「01301191920110011H1803」の場合

01	・	3	・	0119	・	1	・	092011	・	001	・	1	・	H1803
土木 (0 } 1 0)		道路 種別 (3 } 5)		路線 コード		現 旧 新 設 別 (1 } 3)		市 町 村 コ ー ド		図 面 番 号 (ア ク セ ス の デ ー タ)		" 枝 番		作 成 ま た は 補 正 年 月 日

詳細は、栃木県道路台帳整備要綱を参照

対象工種一覧

No	対象工種	入力数値	No	対象工種	入力数値
1	道路	001	20	離岸堤、人工リーフ、消波堤	020
2	歩道	002	21	高潮・津波防波堤	021
3	平面交差点	003	22	人工岬	022
4	立体交差	004	23	人工海浜	023
5	道路休憩施設	005	24	付帯設備	024
6	一般構造物	006	25	砂防ダム及び床固工	025
7	地下横断歩道等	007	26	流路工	026
8	共同溝	008	27	土石流対策工及び流木対策工	027
9	電線共同溝	009	28	護岸工	028
10	地下駐車場	010	29	山腹工	029
11	山岳トンネル	011	30	重力式コンクリートダム	030
12	シールドトンネル(立坑)	012	31	ゾーン型フィルダム	031
13	開削トンネル	013	32	宅地開発	032
14	橋梁	014	33	公園(基盤整備)	033
15	護岸	015	34	下水道(管路)	034
16	樋門・樋管・堰、水門、排水機場	016	35	地質	035
17	床止め	017		空き	036-099
18	堤防、護岸、緩傾斜堤、胸壁	018		追加工種(100から999までを昇順に利用ください)	100-999
19	突堤	019			

(3) ファイル形式

図面管理ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。また、各管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合はXSL に準じる。

(4) 管理項目における使用文字

管理項目における使用文字については、上位要領の「土木設計業務等の電子納品要領(案)」に従うものとする。

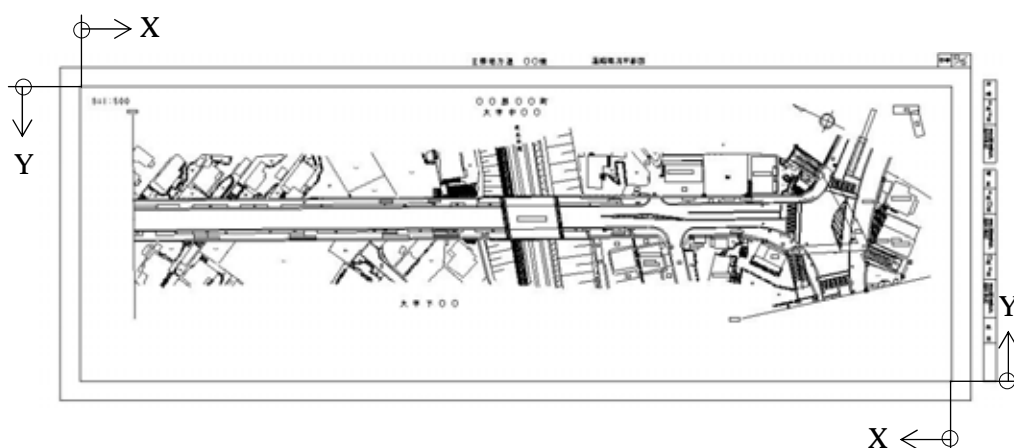
(5) 電子媒体

成果品の電子媒体については、上位要領の「土木設計業務等の電子納品要領(案)」に従うものとする。

(6) 基準点情報

道路台帳附図は、管理台帳附図として維持管理段階での利用を視野に入れ、電子地図上からCADデータが容易に検索できるよう図面管理項目に世界測地系で位置情報を記入する。

基準点情報には、図面中の左上と右下の2点について、平面直角座標のX・Y座標を記入する。やむを得ない理由により、記入できない場合は国土地理院の境界座標情報入力支援サービスを使用して、図面中の中心付近の代表点1点以上を選び、平面直角座標のX、Y座標を記入する。



(7) 道路台帳附図の電子納品

図面に記載する事項

道路台帳附図の図面サイズや図面の記載事項は、栃木県道路台帳整備要綱に基づき作成する。

図面の線幅と文字の大きさ

線幅および文字の大きさは、公共測量作業規程の図式による。

また、輪郭線の太さは0.5mmとする。

道路台帳附図のレイヤ構成

道路台帳附図のCADレイヤは、表-4「道路台帳附図レイヤ名一覧」のとおり作成

し、レイヤの順番を守ること。(ただし、使用しないレイヤは除く)

また、電子納品の対象となる現況平面図、道路台帳測定基図、道路敷地図、道路求積図は1ファイルで作成する。

【表-4 道路台帳附図レイヤ名一覧】

レイヤ名		レイヤに含まれる内容	線色	線種	
責任主体	図面オブジェクト				
M	TTL	外枠	黄	実線	
		FRAM	タイトル枠		黄
		LINE *1)	区切り線、罫線		白
		TXT	文字列		白
	BGD		現況地物	白	実線
		HICN	等高線の計曲線	赤	
		LWCN	等高線の主曲線	白	
		CRST	主な横断構造物	白	
		RSTR	ラスタ化された地図	-	
		EXST	特に明示すべき現況地物	白	
		HTXT	旗上げ	白	
	BMK		構造物基準線(道路中心線)	黄	一点鎖線
		SRVR	基準となる点(測量ポイント)	緑	実線
		ROW	用地境界(幅杭)	橙	
		HTXT	旗上げ	白	
	STR		主構造物外形線(道路幅員)	赤	実線
		STR1	構造物1(橋梁)	赤	実線
		STR2	構造物2(トンネル)	青紫	
		STR3	構造物3(連絡等施設)	白	
		STR4	構造物4(盛土法面)	緑	
		STR5	構造物5(切土法面)	橙	
		STR6	構造物6(平場)	緑	
		STR7	構造物7(擁壁)	赤	
		STR8	構造物8(側道)	暗灰	
		STR9	構造物9(歩道)	桃	
		STRA	構造物A(取付け道路)	茶	
		STRB	構造物B(用排水構造物)	水	
		STRC	構造物C(交通安全施設)	白	
		STRD *2)	道路台帳測定基図(図面名を含む。縦断勾配、横断図は除く)	水	
		STRE *3)	道路敷地図(図面名を含む)	橙	実線又は破線
		STRF *4)	道路求積図(図面名を含む)	黄	実線
		STRG *5)	道路台帳測定基図の縦断勾配	水	
		STRH *6)	道路台帳測定基図の横断図	水	実線
DIM		寸法線、寸法値	白	実線	
TXT *7)		文字列(現況平面図の図面名)	白	実線	
HTXT	旗上げ	白			

取り消し線部のレイヤは、道路台帳付図のレイヤとしては使用しない。

*1)M TTL LINE(区切り線、罫線)の線種は、実線又は一点鎖線とする。

*2)道路台帳測定基図(縦断勾配、横断図を除く)は、M STR STRDに作成する。線色は水色とし、線種は実線又は一点鎖線とする。

*3)道路敷地図は、M STR STREに作成する。線色は橙色とし、線種は実線又は破線とする。

*4)道路求積図は、M STR STRFに作成する。線色は黄色とし、線種は実線又は破線とする。

*5)道路台帳測定基図の縦断勾配は、M STR STRGに作成する。線色は水色とし、線種は実線とする。

*6)道路台帳測定基図の横断図は、M STR STRHに作成する。線色は水色とし、線種は実線とする。

*7)現況平面図の図面名は、M STR THTに作成する。

重要構造物については、将来的にGISへの利用を考慮し、個別にレイヤ管理を行っていくことになるが、現時点ではレイヤ化の対象が定まっていないので、当面は、M BGD(現況地物)に作成する。

(8) 道路台帳附図の作成例

全レイヤ表示 (TTLオブジェクト、BGDオブジェクト、BMKオブジェクト、STRオブジェクト)



現況平面図 (TTLオブジェクト、BGDオブジェクト、BMKオブジェクト、STR-TXT)



道路台帳測定基図 (TTLオブジェクト、BGDオブジェクト、BMKオブジェクト、STR-STRD、STR-STRG、STR-STRH)



現況平面図規定のレイヤとSTR-STRD、STR-STRG、STR-STRHを表示

道路敷地図 (TTLオブジェクト、BGDオブジェクト、BMKオブジェクト、STR-STRE)



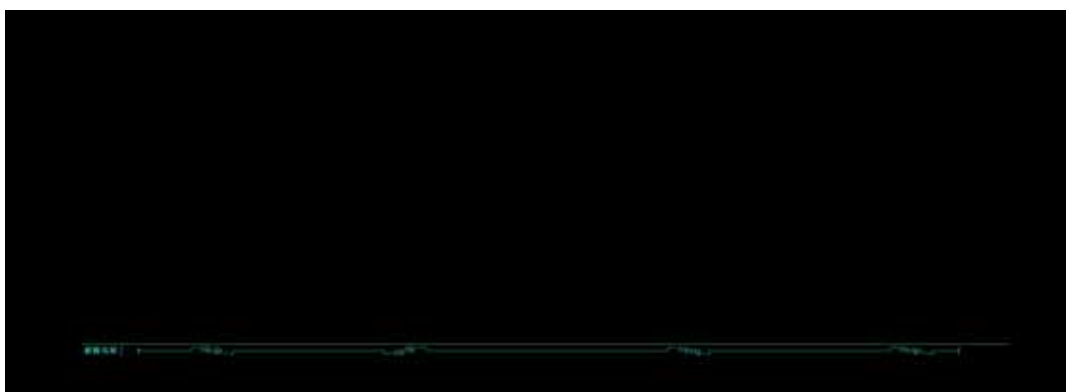
現況平面図規定のレイヤとSTR-STREを表示

道路求積図 (TTLオブジェクト、BGDオブジェクト、BMKオブジェクト、STR-STRF)

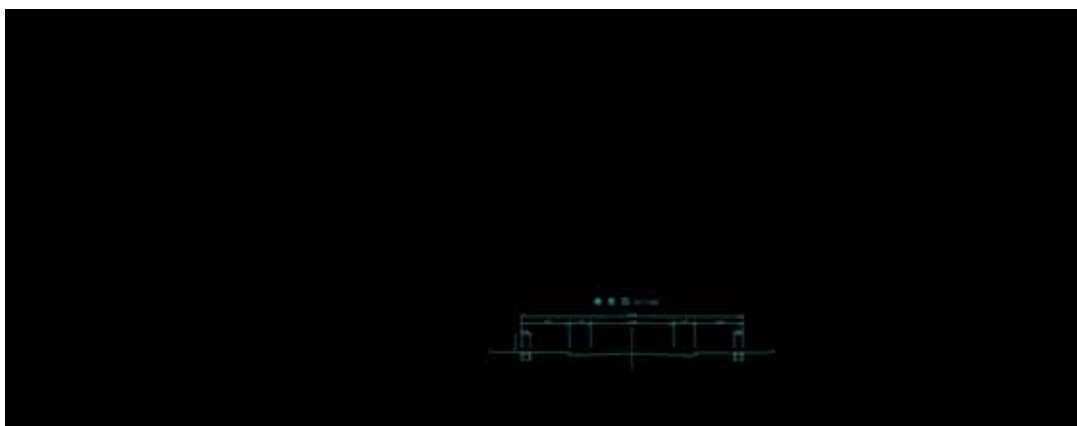


現況平面図規定のレイヤとSTR-STRFを表示

縦断勾配 (STR-STRG)



横断図(STR-STRH)



(9) 紙図面の出力

道路台帳附図を紙に出力する場合の線色は、道路敷地図(STR-STRE)のみレイヤで規定されている線色で出力(図枠のみモノクロ)し、その他の図面はモノクロで出力する。

1 - 3 道路台帳補正報告書の作成

道路台帳補正報告書はEXCELファイルで作成し、電子媒体(CD-R)に格納して納品する。

発注者は納品された道路台帳補正報告書の未記入項目を記入し、道路維持課に電子メールで提出する。

1 - 4 成果品の提出部数

道路台帳整備業務の成果品の提出部数は、CD-R正副2部と紙1部とする。

ただし、道路地方交付税検査用資料として道路台帳測定基図のみ紙2部を提出する。

また、現行どおり原図等の提出も併せて行うものとし、原図の出力については、

「(9)紙図面の出力」に準じる。

付属資料 2 用地測量業務の電子納品

用地測量業務委託の成果を電子納品する場合は以下のルールを適用する。

1 - 1 用地測量図面のレイヤ構成

用地測量図面（用地測量図、公図転写連続図）のレイヤ構成は以下のとおりとする。

【表- 1 用地測量図面におけるレイヤ構成】

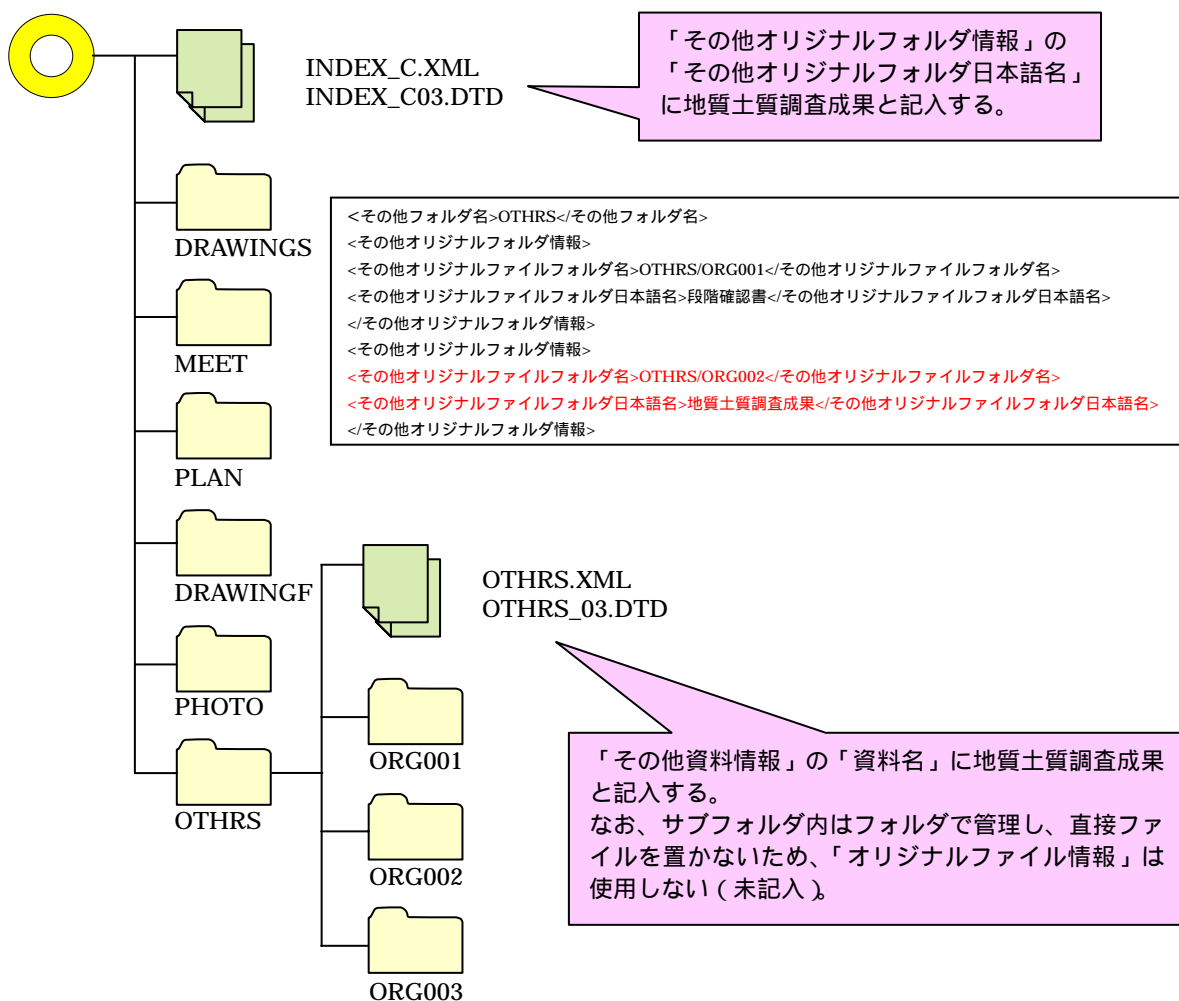
レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色
責任主体	図面 オブジェクト	作図要素		
S	TTL		外枠	黄
		FRAM	タイトル枠	黄
		LINE	区切り線、罫線	白
		TXT	文字列、図面の名称、縮尺、測量完成 年月日、発注者名称、受注者名称	白
	BGD		建物及び工作物、現況地物	白
		HICN	等高線の計曲線	赤
		LWCN	等高線の主曲線	白
		CRST	主な横断構造物	白
		RSTR	ラスタ化された地図	-
		EXST	特に明示すべき現況地物	白
		HTXT	道路名、水路名	白
	BMK		構造物基準線（道路中心線）	黄
		SRVR	基準となる点（測量ポイント）、方位、座標軸	緑
		ROW	用地境界（幅杭）	橙
		HTXT	測点名及び測点情報	白
	YOU	TXT	地番、地目、土地所有者、境界辺長、 隣接地の地番、市町村名・大字・字名 又は町丁名等、現況地目、画地及び残地 の面積	白
		LINE	用地境界線、土地の境界、行政界	白
		SAN	用地の三斜及び数字	白
		HTXT	面積計算表、座標一覧表	白
		KOU	公図等を着色する際に用いるレイヤ	1)

1) 法務局等に備え付けてある公図等の着色に従った線色とする。

付属資料3 工事完成図書に地質・土質調査成果を含めた場合の電子納品

工事内において地質・土質調査成果を電子納品する場合は以下のルールを適用する。
 成果データ全体の作成方法は、「工事完成図書の電子納品（案）国土交通省」に従う。
 その他フォルダ（OTHERS）配下にサブフォルダ（ORGnnn）を作成して地質・土質調査成果を格納する。
 地質・土質調査成果は、「地質・土質調査成果電子納品要領（案）国土交通省」に従うが、
 業務管理ファイル（INDEX_D.XML）は作成しない。

（フォルダ構成例）



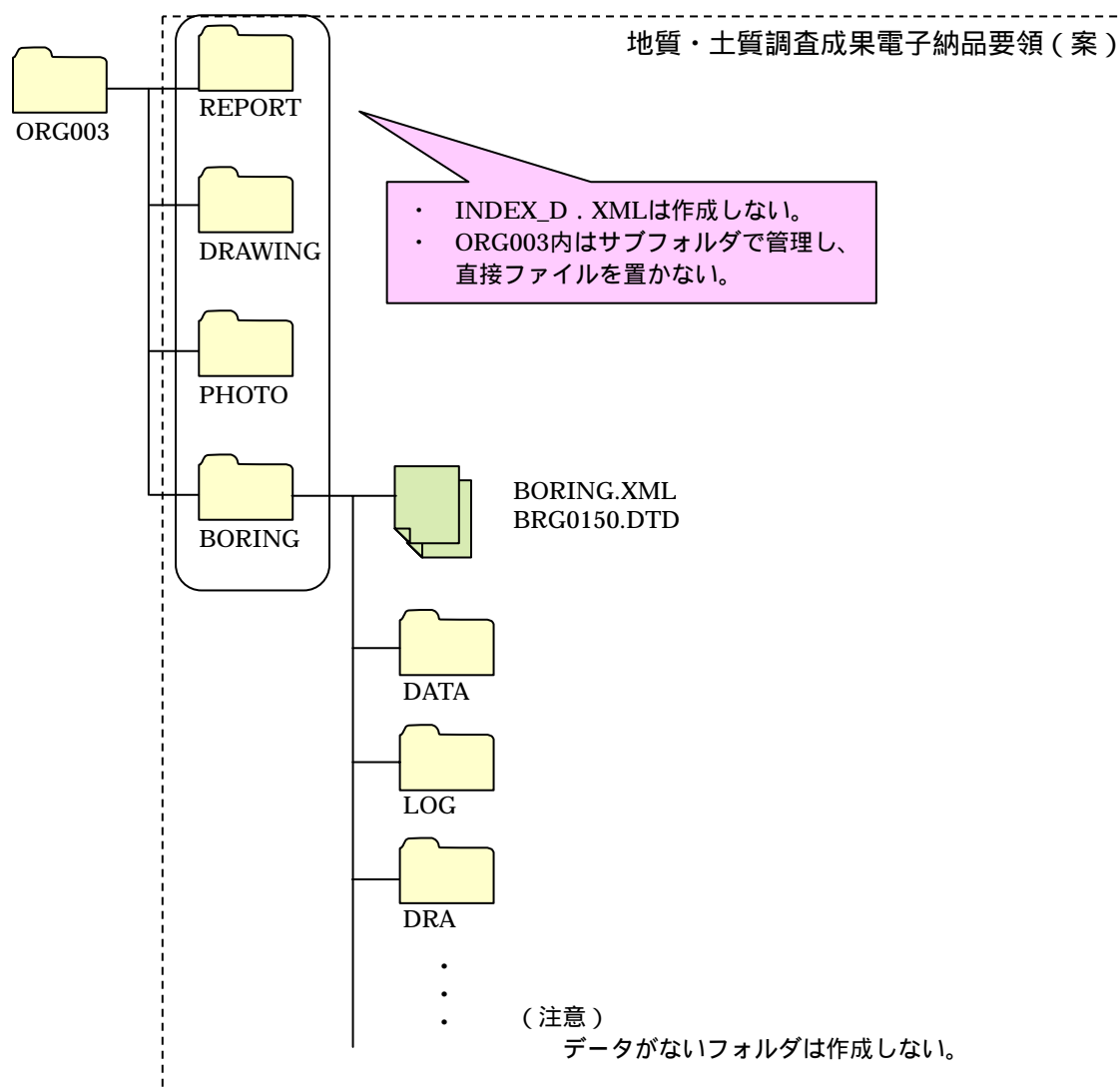
（作成例）

```

<サブフォルダ情報>
<その他サブフォルダ名>ORG003</その他サブフォルダ名>
<その他サブフォルダ日本語名>その他オリジナルファイルフォルダ</その他サブフォルダ日本語名>
<その他資料情報>
<資料名>地質土質調査成果</資料名>
</その他資料情報>
</サブフォルダ情報>
    
```

（注意）
 データがないフォルダは作成しない。

(フォルダ構成例のつづき)



ORG003・・・格納するサブフォルダは、その他資料の有無によってフォルダ名が異なる。
例) 工事履行報告書や段階確認書が無い場合はORG001となる。